

貸借対照表

2023 年 12 月 31 日 現在

株式会社 CAOS

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
【 流 動 資 産 】	[112,703]	【 流 動 負 債 】	[12,932]
現金及び預金	105,143	買掛金	6,288
売掛金	7,205	未払金	1,673
仕掛品	99	未払法人税等	182
前払費用	255	未払消費税等	4,788
		負 債 合 計	12,932
		(純 資 産 の 部)	
		【 株 主 資 本 】	[99,771]
		資本金	50,000
		資本剰余金	50,000
		資本準備金	50,000
		利益剰余金	△ 228
		繰越利益剰余金	△ 228
		純 資 産 合 計	99,771
資 産 合 計	112,703	負 債 ・ 純 資 産 合 計	112,703

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

【 重要な会計方針 】

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

・ 仕掛品 個別法

2. 収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

（システム開発契約）

ロボットの制御システム、ペイメントシステム、その他システムの開発は、顧客との間でシステム開発の準委任契約を締結しております。主な履行義務は、一定期間内に定められた役務の提供を行う事であり、主に稼働に応じて履行義務が充足されるため、稼働実績に基づき収益を一定の期間にわたり認識する方法を適用しております。

【 収益認識に関する注記 】

顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報については、「【重要な会計方針】2 収益及び費用の計上基準」に記載のとおりです。

【 株主資本等変動計算書に関する注記 】

発行済株式の種類及び総数

株式の種類	前事業年度末 株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度末 株式数
普通株式	2,000 株	- 株	- 株	2,000 株

【 当期純損益金額 】

当期純損失

362 千円